

防犯避難訓練

令和元年10月15日（火）に防犯避難訓練を実施しました。

今回は不審者が校舎内に侵入しようとしている状況を想定した訓練で、不審者を目撃した生徒の通報を受けて職員が直ちに玄関に施錠をし、同時に生徒は各階の一教室に机や椅子でバリケードを作り避難しました。

能代警察署の方々に全面的に協力していただき、不審者役の警察の方が校舎内に入れずにうろうろしているところを駆けつけた二ツ井交番の警察官が確保する、というところまでやっていただきました。



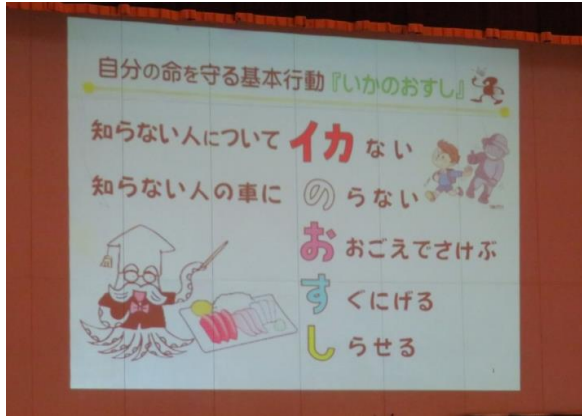
不審者の対処法を伝授



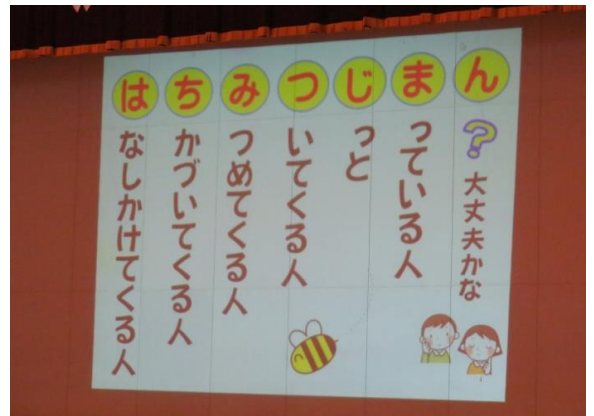
「こない手」を使用してみる

訓練の後は体育館に集合し、警察署の方から不審者から身を守るためにとるべき行動について説明していただきました。

自分の命を守る基本行動『いかのおすし』については小学校の頃から教えられているため、ほとんどの生徒たちが知っていましたが、今回の講演では新たに不審者の特徴の『はちみつじまん』も教わりました。



『いかのおすし』



不審者は『はちみつじまん』

また、知らない人と話すときは、すぐに手を捕まれない距離を保ち、危なくなったらなるべく人が多くいる場所に逃げ込むことが大切です。今回学んだことを忘れず、「自分の身は自分で守る」ことができるようにしましょう。



「いかのおすし」の意味は？



20秒間必死に逃げる練習